

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
阿波市	林地区	令和3年9月30日	令和6年3月15日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	349ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	193ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	36ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	9ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	37ha

## 2 対象地区の課題

酒米やブロッコリーの生産が盛んである。  
75才以上で後継者未定の農業者の耕作面積よりも、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の方が多くなっているが、アンケートの回答がない後継者未定の農業者も多数いることが見込まれ、新たな農地の受け手の確保が必要である。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

林地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者等の58経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

## 農地の貸付け等の意向把握と農地中間管理機構の活用方針

農業委員会、農業協同組合等の関係団体と連携して、農地の貸付け等の意向把握に努め、将来の経営農地の集約化を目指し、農地中間管理機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。

## 基盤整備への取組方針

農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、地域の意向に基づき、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備について検討する。

## 作物生産に関する取組方針

市のブランド育成産品を中心に、収益性の高い園芸作物の生産や、特産加工に向けた作物の生産に取り組む。

## 鳥獣被害防止対策への取組方針

鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業等を活用しての捕獲活動や、捕獲体制の構築等に取り組む。

## 2. 今後の地域の中心となる経営体（中心経営体）

属性	経営体 (氏名)	現状 〔令和5年度〕		計画 〔令和15年度〕	
		経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数 等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)
認農法		ネギ・レタス・ キャベツ・玉ね ぎ・とうもろこ し・ブロッコリー	16.6 ha	ネギ・レタス・ キャベツ・玉ね ぎ・とうもろこ し・ブロッコリー	36.6 ha
認農法		水稻・レタス・ミニ トマト・ナス	7.8 ha	水稻・レタス・ミニ トマト・ナス	9.8 ha
認農		小麦・大豆・野菜 (少量多品目)	2.0 ha	小麦・大豆・野菜 (少量多品目)	4.0 ha
		水稻・レタス・ナ ス 肉用牛	3.13 20頭 ha	水稻・レタス・ナ ス 肉用牛	2.4 30頭 ha
認就		ブロッコリー・ニ ラ・ネギ	0.8 ha	ブロッコリー・ニ ラ・ネギ	2.0 ha
		水稻	1.8 ha	水稻	2.0 ha
		水稻・ブロッコ リー	2.3 ha	水稻・ブロッコ リー	2.7 ha
		ブロッコリー・と うもろこし	1.4 ha	ブロッコリー・と うもろこし	2.1 ha
		水稻・ミニトマト	0.7 ha	水稻・ミニトマト	0.7 ha
認就		ブロッコリー・ ピーマン・枝豆	1.7 ha	ブロッコリー	2.2 ha
認農		レタス・ブロッコ リー・ナス	4.3 ha	レタス・ネギ	9.5 ha
認農		水稻・ブロッコ リー	2.3 ha	水稻・ブロッコ リー	2.7 ha
		水稻・ネギ・空芯 菜(エンサイ) ミョウガ・わらび	1.1 ha	水稻・ネギ・空芯 菜・ミョウガ	2.5 ha
認農		水稻・レタス・ブ ロッコリー・ミニ トマト・ナス	3.8 ha	水稻・レタス・ブ ロッコリー・ミニ トマト・とうもろ こし・ナス	6.3 ha
認農		水稻・レタス	1.2 ha	水稻・レタス・ブ ロッコリー	2.0 ha

## 2. 今後の地域の中心となる経営体（中心経営体）

属性	経営体 (氏名)	現状 〔令和5年度〕		計画 〔令和15年度〕	
		経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数 等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)
		水稲・レタス・ブ ロッコリー・ナス	3.1 ha	水稲・レタス・ブ ロッコリー・ナス	3.3 ha
		ブロッコリー	1.1 ha	ブロッコリー	0.7 ha
		水稲・ブロッコ リー・ナス	1.1 ha	水稲・ブロッコ リー・ナス	1.1 ha
		水稲・ブロッコ リー	2.0 ha	水稲・ブロッコ リー	2.0 ha
		水稲・ブロッコ リー	1.2 ha	水稲・ブロッコ リー	1.7 ha
認就		ブロッコリー・レ タス・なす	2.9 ha	ブロッコリー・レ タス・なす	5.0 ha
認農 法		水稲・麦・ナス・ キュウリ・レタス	11.2 ha	水稲・麦・ナス・ キュウリ・レタス	11.2 ha
		ブロッコリー・ キャベツ	2.0 ha	ブロッコリー・ キャベツ・とうも ろこし・藍	7.0 ha
		—	— ha	レタス・ブロッコ リー・ほうれん 草・水菜	0.8 ha
認農		ミニトマト	0.6 ha	ミニトマト	1.1 ha
認就		ナス・ブロッコリ ー	0.9 ha	ナス・ブロッコリ ー	0.9 ha
認就		ブロッコリー・ミ ニトマト・レタス	0.6 ha	ブロッコリー・ミ ニトマト・レタス	2.0 ha
		水稲・麦	1.5 ha	ブロッコリー・ナ ス・その他野菜	0.5 ha
		ミニトマト	1.1 ha	ミニトマト	1.1 ha
		ブロッコリー	0.2 ha	ブロッコリー	0.3 ha

## 2. 今後の地域の中心となる経営体（中心経営体）

属性	経営体 (氏名)	現状 〔令和5年度〕		計画 〔令和15年度〕	
		経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数 等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)
認農		ナス・ブロッコリー	2.6 ha	ナス・ブロッコリー・レタス	3.1 ha
		水稲・レタス・ブロッコリー・ナス	4.8 ha	水稲・レタス・ブロッコリー・ナス	6.3 ha
認農		水稲・レタス・ブロッコリー	5.7 ha	水稲・レタス・ブロッコリー	6.5 ha
認農		水稲・レタス・ブロッコリー	5.5 ha	水稲・レタス・ブロッコリー	6.0 ha
認農		ブロッコリー・レタス・サニーレタス・ナス	0.8 ha	ブロッコリー・レタス・サニーレタス・ナス	1.7 ha
認就		ブロッコリー・ナス	0.6 ha	ブロッコリー・ナス	1.0 ha
認就		ナス・ブロッコリー・ほうれん草・レタス	0.8 ha	ナス・ブロッコリー・ほうれん草	1.8 ha
認農法		オリーブ・きんかん	0.6 ha	オリーブ	3.1 ha
認農		水稲・ブロッコリー	8.3 ha	水稲・ブロッコリー・アスパラガス	8.3 ha
認農		ナス・ブロッコリー	1.1 ha	ナス・ブロッコリー	2.9 ha
		レタス・ナス・キャベツ	0.3 ha	レタス・ナス・キャベツ	0.6 ha
		水稲	1.5 ha	水稲	1.5 ha
		水稲・野菜	0.9 ha	水稲・野菜	0.9 ha
		水稲・ブロッコリー	0.7 ha	水稲・ブロッコリー	0.7 ha
		ブロッコリー	3.0 ha	ブロッコリー	3.0 ha

## 2. 今後の地域の中心となる経営体（中心経営体）

属性	経営体 (氏名)	現状 〔令和5年度〕		計画 〔令和15年度〕	
		経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数 等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)
		水稲	1.0 ha	水稲	1.5 ha
認就		ブロッコリー・オクラ	0.5 ha	ブロッコリー・サニーレタス・とうもろこし・夏秋ナス	2.4 ha
		ブロッコリー	3.0 ha	ブロッコリー	3.5 ha
認農		水稲・ピーマン	0.8 ha	水稲	5.0 ha
		養蜂	50群 ha	養蜂	200群 ha
		水稲・野菜	0.1 ha	水稲・野菜	0.6 ha
認就		繁殖牛	0.0 ha	繁殖牛	37.0 ha
認就		トマト(促成)、夏秋ナス	0.2 ha	トマト(促成)・夏秋ナス・ブロッコリー	0.4 ha
		ナス(夏秋・促成)	0.2 ha	ナス(夏秋・促成)	0.3 ha
認就		カリフラワー、ほうれん草、枝豆、細ねぎ	0.4 ha	カリフラワー、ほうれん草、枝豆、細ねぎ	1.0 ha
認農		水稲	45.0 ha	水稲	46.0 ha
認農		水稲ニンニク	1.2 ha	水稲ニンニク	1.6 ha
認農		ミニトマト	0.3 ha	ミニトマト	0.3 ha
認農		ミニトマト	0.3 ha	ミニトマト	0.3 ha